

首都圏の新たなゲートウェイ茨城港が誕生

— 日立港・常陸那珂港・大洗港が統合 —



- 日立港、常陸那珂港、大洗港の県北3港を「茨城港」として統合したことで、各港への入港料の支払い等が一元化され、**利用者の利便性が向上**
- 茨城港は太平洋に面するため、船が直接入港可能となっており、房総半島を迂回しなければならない東京湾諸港と比べ、**輸送時間の大幅な削減が可能**
また、北関道の開通によりアクセスが格段に向上、**物流コストやCO2排出量の大幅な削減が可能**
CO2排出量 約120kg → 約70kg (40%減)
- 平成19年の取扱い貨物量が過去最高となるなど、首都圏の物流を担う新たなゲートウェイとして、茨城の港のますますの発展が期待される

【北米へのアクセスの優位性】

茨城港	東京港
外洋から直接入港が可能	房総半島を廻って入港 →約14時間のロス
荷役作業待ち時間なし	荷役作業待ち時間 約6.5時間
港内制限速度なし	港内制限速度12ノット →約6時間のロス
時間のロス 無し	計 約26.5時間のロス

